

供覧	校長	教頭	教務	事務長

佐賀市城北学校運営支援室 実践報告書

平成20年度 第20回

開催期日	平成20年12月25日(木) 10:00~12:30
実践会場	佐賀市立城北中学校
実践内容	<p>① 平成20年12月分城北中服務帳票読み合わせによる確認。 職員出勤簿・印漏れについては、こまめに打たせる事。 出張伺簿の一括記入でなく、出張前の伺簿記入を定着させる事。 日曜の学期末PTA(3年餅つき大会)の出勤印および全振に注意。</p> <p>② 例月電算集約。提出は12月26日城北中が教職員課提出。</p> <p>③ 校長報告原案作成。様式(実践報告書)の検討。今後は共同実施開催一週間以内に会場校で作成し、支援室各校に配布。実践報告として、各学校長に供覧する。 2月開催予定の市の小中学校事務共同実施協議会においても、年間業務について中心校・連携校校長へ報告予定。実践の結果報告は勿論だが、今年度の反省と来年度の課題も挙げなくてはならない。城北支援室としては「組織化の推進」を掲げる。</p> <p>④ 事務研役員会報告。支援室からの要請事項については、成章支援室案を採択し、運営支援室の組織としての位置づけ・拠点箇所の設置・室長の権限・校納金のシステム等々について、市教委・入部学事課長へ提言する。</p> <p>⑤ 県費旅費配分方法の検討結果。共同実施地区単位での拠出金方法については現実的に無理があるので反対の方向。佐賀市全体で残額調整する方法は認められるが旅費の不足分については、安易な補充でなく内容を吟味することが重要との意見。</p> <p>⑥ その他配布資料説明。平成22年以降の編成基準案(共同実施の地区割り)については佐賀市全体の総意が必要なので、年度当初の総会で意思確認をはかる。 県事研理事会資料・多久市の五ヵ年計画資料等。</p>
備考	<p>配布資料: 12/24佐賀市小中学校事務研究協議会役員研修会(開催文書及び研修会資料) 佐賀市城北学校運営支援室実践報告書(様式) 学校事務支援室の体制に関する要望(成章・城北・大和) 学校事務職員の役割と今後への期待(新聞記事) 平成20年度共同実施「城北支援室」年間業務報告 佐賀県公立小中学校事務研究会平成20年度第2回理事研修会(資料) 市「運営室会議」五ヵ年計画概要及び要点</p>